SANWA SUPPLY

インクジェットプリンタ専用
おためしハガキセット

JP-HKSET4

上から順に、①フォト光沢印画紙、②フォト光沢ハガキ、③フォト光沢ヒートシール、④インクジェット用ハガキ（スーパーファイン）、⑤ぼこぼこシール、⑥フォト光沢カード（ミシン目）が、各2枚ずつ入っています。バラバラにならないよう気を付けてお取り扱いください。印刷の際の諸設定については、下記を参照ください。

使用方法

〈用紙の微調整〉

プリンタの種類、給紙の仕方によって印字範囲がずれることがあります。テストプリントを行って、印字範囲を調整してください。また、その際は各ソフトのマニュアルに従ってください。

〈印刷について〉

1)用紙サイズについて

・①～⑤（⑥フォト光沢カード（ミシン目入）以外）：用紙サイズを必ず「ハガキ」にしてください。

・⑥フォト光沢カード（ミシン目入）：用紙サイズをユーザー定義サイズで「用紙幅114mm×用紙長175mm」に設定して使ってください。（EPSONプリンタの場合 は「フォトカード102×152mm」を選んでください。）

2)印刷面について

印刷面がプリンタのノズル側にくるように用紙をセットしてください。

・①フォト光沢印画紙、②フォト光沢ハガキ、③フォト光沢ヒートシール、⑥フォト光沢カード（ミシン目）：光沢がある面が表面です。

・④インクジェット用ハガキ（スーパーファイン）：より白色度の高い方が表面です。

・⑤ぼこぼこシール：光沢のない面が表面です。

3)これらの用紙は手差しで1枚1枚給紙してください。

4)使用するプリンタの機種によりわずかに濃淡の差がでることがあります。その場合は、各機種の取扱説明書に従い濃度調節を行ってください。また、プリンタ各種に応じてカラーバランス・ガンマ補正・各色の濃度などを調節してください。

5)その他注意

●⑥フォト光沢カード（ミシン目入）：十分にインクが乾いたのを確認したうえで、四辺を切り取ってください。2、3回折り曲げると四辺が切り取れます。引っ張るように切り取らないでください。

●③フォト光沢ヒートシール：

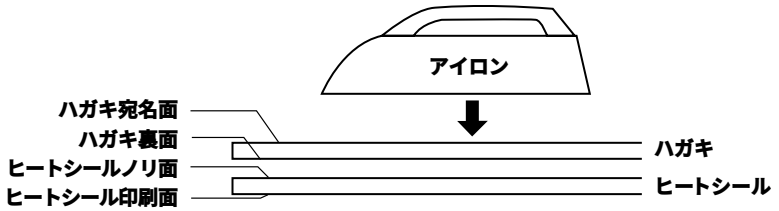
・インクジェット光沢ヒートシールは、ハガキサイズで約2gとなるように製造されており、通常の官製ハガキ（官製年賀状を含む）に貼り合わせてもハガキの重量規制（2g～6g）を越えることがありませんので、安心してご利用いただけます。貼り合わせ時にハガキよりはみ出した部分がある場合は、その部分を切り取ってから投函してください。

・アイロンでの貼り合わせ

印字したインクジェットヒートシールとハガキは、重ね合わせて位置合わせを行った後でアイロンで貼り合わせてください。

1）アイロンでの貼り合わせを行うときは火傷に十分ご注意ください。

2）アイロンでの貼り合わせは、インクジェットヒートシールのノリ面とハガキの裏面を重ね合わせ、必ずハガキ側を上にしてアイロンで加熱してください。



3）アイロンでの温度設定は中程度、繊維では絹、ナイロン、毛等の適用温度をご使用ください。それ以上の高温設定ではハガキ及び用紙が黄ばむ恐れがあります。

4）アイロンでの加熱時間は10～20秒程度で、全面を均一に加熱してください。特にハガキ周囲を念入りに加熱すると剥がれにくい接着ができます。

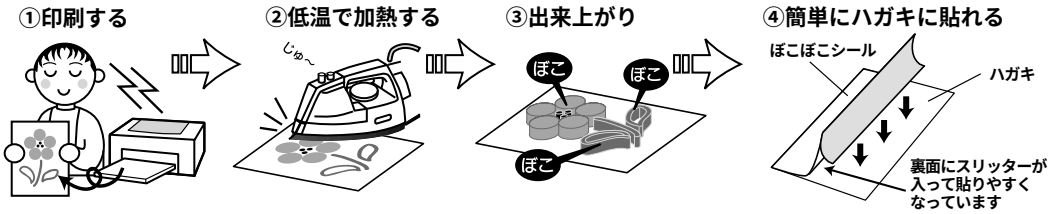
5)スチームはご使用にならないでください。

6)アイロンでの貼り合わせ直後には大きく反ることがありますが、放置しておきますと元に戻ります。放置しても反りが取れない場合には手で元に戻してください。

7）貼り合わせを失敗したときには、端の部分を少し剥がし、剥がした部分以外をアイロンで再加熱してハガキが熱いうちにゆっくり剥がすと、きれいに剥がせハガキを再利用できます。一度剥がしたヒートシールは接着力が不足いたしますので、再利用はおやめください。

8）宛名面などにワープロなど、熱転写タイプのプリンタで印字したハガキをアイロンで加熱しますと、インクが溶融し、アイロンやハガキを汚すことがありますのでご注意ください。

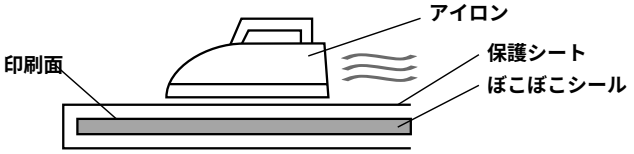
●⑤ぼこぼこシール：（詳しいぼこぼこのさせ方は次のページを参照ください。）



※ハガキに貼っても普通郵便料金￥50で送れる厚み・重さです。（H10.11月現在）

●発泡のさせ方

印刷後10分以上乾燥させてから、1時間以内にアイロンで発泡させてください。長時間経過後に加熱した場合は、膨らまないことがあります。アイロンは市販の家庭用アイロンを使ってください。また、アイロンのスチームは絶対に使用しないでください。
加熱作業はアイロン台の上で行ってください。
1)印刷した側が上になるように保護シートで用紙を挟んでください。
2)保護シートの上からアイロンで加熱してください。



3)アイロンの温度設定は低温(化繊1などが適温)をご使用ください。それ以上の高温では過剰発泡したり白紙部分が発泡したりします。
4)最初にアイロンを軽く押し当て2往復程度、素早くアイロンをかけて、膨らみ具合を確認してください。
★ポイント：アイロンをかける場合、1ヶ所に静止させずに短い時間(1～3秒程度)で移動させながら、数回に分けて加熱すると、きれいに仕上がります。
膨らみ具合を確認したら、再度保護シートに挟み込み、シート全体に均一に熱をかけてください。
5)印刷部分が軽く膨らんできたら完成です。(膨らむと印刷した濃度が薄くなります。)未印刷部分も発泡してしまう場合は、加熱のしすぎです。温度設定や押し当てる時間を少なめに調節するようにしてください。
6)発泡直後は、発泡した部分が剥がれ易くなっていますので、十分に冷えるまでは触らないでください。
★使用条件：室温(20℃～30℃)、湿度70%以下の室内でご使用ください。
※印刷後急いで発泡させたい時や、湿度が高い時に発泡作業を行う場合は、家庭用ドライヤーで20cmくらいの距離から用紙全体を10～20秒程度乾かしてください。

★その他使用上の注意

〈おすすめ印刷設定〉

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="3"></th><th colspan="4">フォト光沢印画紙等(①～③・⑥)</th><th colspan="4">インクジェット用ハガキ(④)</th><th colspan="2">ぼこぼこシール(⑤)</th></tr>
<tr><th colspan="2">表　面</th><th colspan="2">宛名面</th><th colspan="2">表　面</th><th colspan="2">宛名面</th><th rowspan="2">用紙設定</th><th rowspan="2">印刷モード</th></tr>
<tr><th>用紙設定</th><th>印刷モード</th><th>用紙設定</th><th>印刷モード</th><th>用紙設定</th><th>印刷モード</th><th>用紙設定</th><th>印刷モード</th></tr>
<tr><td rowspan="2">EPSON</td><td>PM-750C・700C等</td><td>専用光沢紙</td><td>スーパーファイン</td><td>スーパーファイン専用紙</td><td rowspan="2">スーパーファイン</td><td rowspan="2">スーパーファイン専用紙</td><td rowspan="2">スーパーファイン</td><td rowspan="2">スーパーファイン専用紙</td><td rowspan="2">スーパーファイン</td><td rowspan="2">光沢フィルム</td><td rowspan="2">スーパーファイン</td></tr>
<tr><td>その他の機種</td><td>光沢紙</td><td>スーパーファイン</td><td>ファイン専用紙
OHPシート※2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">CANON</td><td>標準インク</td><td>光沢紙</td><td rowspan="2">準高品位
・
高品位</td><td rowspan="2">コート紙
・
高品位専用紙</td><td rowspan="2">超高品位
・
高品位</td><td rowspan="2">高品位専用紙</td><td rowspan="2">超高品位
・
高品位</td><td rowspan="2">コート紙
・
高品位専用紙</td><td rowspan="2">超高品位
・
高品位</td><td colspan="2" rowspan="2">写真or写真フィルム
(上記設定にない場合は光沢紙)</td></tr>
<tr><td>フォトインク</td><td>高品位専用紙</td></tr>
<tr><td rowspan="2">NEC・HP</td><td></td><td rowspan="2">専用光沢紙※1</td><td rowspan="2">高品位</td><td rowspan="2">専用紙</td><td rowspan="2">ベスト
高品位
ノーマル</td><td rowspan="2">専用紙</td><td rowspan="2">高品位</td><td rowspan="2">専用紙</td><td rowspan="2">ベスト
高品位
ノーマル</td><td>光沢紙</td><td>ベスト・高品位</td></tr>
<tr><td>フォトスマート</td><td>フォトグラフィックペーパー</td><td>フォトスマートデラックス</td></tr>
<tr><td colspan="2">富士通・レックスマーク</td><td>光沢紙</td><td>ベスト・高品位</td><td>専用紙</td><td>ベスト・高品位
・ノーマル</td><td>専用紙</td><td>高精細・ベスト
・高品位</td><td>専用紙</td><td>ベスト・高品位
・ノーマル</td><td>光沢紙</td><td>プレゼンテーション</td></tr>
</table>

※注)普通紙モード、高速印刷、インクセーブモード、双方向印刷(EPSON)などではご使用にならないでください。
※1)HP(NEC)製の顔料系黒インクには、対応しませんので、これらのプリンタでは用紙設定を必ず光沢紙に設定してください。
※2)EPSON製プリンタで宛名面に印刷する場合は、用紙設定を「スーパーファイン専用紙」または、「ファイン専用紙」にしてください。
また、MJ-500Cでモノクロヘッドユニットを装着している場合は用紙設定を「OHPシート」にしてください。
●テスト印刷などの場合は普通紙で印刷し、仕上げ用の出力用紙としてご使用されることをおすすめいたします。

〈おすすめプリンタ〉

EPSON	PM-750C等のマッハジェットプリンタ
キャノン	バブルジェットプリンタ
Apple	スタイルライタ
NEC	カラーインクジェットプリンタ
ヒューレットパッカード	デスクライタ・デスクジェットシリーズ
富士通	カラーインクジェットプリンタ
レックスマーク	カラーインクジェットプリンタ
沖データ	マイクロラインジェットプリンタ
IBM	マイクロバブルジェットプリンタ
シャープ	インクジェットプリンタ

使用上の注意

●⑥フォト光沢カード（JP-K20A6）に印刷される際は、ミシン目よりはみ出た部分が切り取られることを考慮した上で、画像をデザインしてください。
●ミシン目の切れかかった用紙は、プリンタトラブルの原因にもなりますのでご使用をお避けください。
●印字面をこすったり、傷つけたり、折り曲げたりしないでください。
●用紙がカールしたり、シワにならないように取り扱ってください。万一、カールしたら必ずカールを直してから使用してください。
●万年筆や水性ペンで書くとにじむ恐れがありますので、ご確認のうえご使用ください。
●耐水性には優れていますが、水濡れや直射日光・経年変化により、印刷部分が変色することがあります。
●プリンタの種類、プリンタの印刷モード、インク、ドライバソフトなどにより、画像色・画像の精細さが変わることがあります。
●ワープロなど、熱転写プリンタやコピー機、レーザープリンタ、アルプス社製のマイクロドライプリンタでは使用できません。
●本製品を舐めたり、口に入れたりしないでください。

保管上の注意

●使用しない用紙は必ずビニール袋に入れて保管してください。外で長時間放置いたしますと、反りが発生したり変色する可能性があります。
●高温、高湿、直射日光を避けて保管してください。
●閉め切った車内やトランクなど、高温になる条件での保管は避けてください。
※万一、製造上の不備がございました場合には、同数の新しい製品とお取り替えいたします。それ以外の責任はご容赦いただきます。
※本製品は光や保管条件によって変色、退色いたしますが、この点についてのお取り替え、その他の補償はご容赦いただきます。
※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
※記載の社名及び製品名は一般に各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社